未来に輝く まちづくり をめざして

合併後 初めての市政懇談会 を開催

まちづくりについて
説明する佐藤市長

各地区とも熱心な意見が出された懇談会（写真は糠沢地区）

本宮市が誕生して初めての市政懇談会は、8月2日の高木地区から9月5日のサンライズもとみやまで、市内13カ所でいずれも午後7時から開催されました。

懇談会には佐藤嘉重市長、中野一夫副市長、佐久間和夫教育長をはじめ各部長らが出席し、市民の皆さんから直接ご意見を伺う、合併後初めての機会となりました。

参加者は、13カ所の合計で延べ307人。旧町村別では本宮地区が延べ121人で1地区平均17.3人、白沢地区が延べ186人で1地区平均31.0人となり、全地区の平均では、1地区あたり23.6人の参加者となりました。

参加した皆さんからは、合併後7カ月を経過した中で感じられた新市の感想をはじめ、これからのまちづくりに対する意見や要望など、あわせて200件以上が提言されました。

今月は、懇談会で提言された主な質問や意見についてご紹介します。なお、紙面の都合上、要約、割愛した項目もありますので、ご了承ください。

延べ307人の市民の皆さんが参加
合併後の財政状況、各地域の問題に活発な意見

財政関係について

質問：合併時の債務は、本宮、白沢ではそれぞれいくらあったのか。

回答：本宮市としては、一般会計と特別会計で約350億円で元金と利子を含んだ額である。当初は本宮だけで400億円あったが、合併時には約297億円まで減らした。白沢は約56億円である。

質問：旧本宮町の借金約110億円を返したのはすばらしい。ただし、これからも350億円を返していかなければならないし、利息も上がってくるのでは。職員は合併したら危機感がなくなっているのでは、と心配している。元金の返済について危機感をもって進めてもらいたい。

回答：工業用地造成事業特別会計の利率は毎年交渉しているが、それ以外の利子は確定している。

14年度から17年度にかけての財政再建計画の考え方は継承している。職員も危機感を持ってあたっているし、脇を締めて臨んでいる。

質問：工業団地の借金118億円が一番大きな問題。97％売って118億円残ったことで、県とはどのような交渉をしているのか、その説明を市民にする必要がある。

この118億円は、もっとしっかりと考えないと夕張と同じくなってしまうし、118億円は本宮の運命にかかわる。元金をいくらかでも返したという姿を見せてほしい。私たちは見守っていきたい。

回答：工業団地の借金については、乗り越えなければならない使命と考えている。ただし、雇用の確保、税収の増というメリットもある。現実には118億円の借金が残ったが、市民サービスを維持しながら財源を見いだしていく。国の法律の関係で伸びるかもしれないが、今年度中には返済計画が作成できるので、まとまったら市民の皆さんに公表したい。118億円の返済については、本宮市の最重要課題として取り組んでいる。

質問：合併説明会で説明した、工業特会の返済を40年かけて返済するということはまちがいないのか。

回答：市としては長期に返済したいと考えており、今後、金融機関と返済計画を協議し財政計画を策定したい。

質問：今日（9月5日付）の新聞で、県の歳入が不足するとある。一般家庭では収入から家計を考えるが、市は歳出から考えている。企業が厳しい中で、市の予算100億円が賄えるのか。

回答：確かに予算は歳出を組むことからはじめるが、市の場合は、歳入は増えているのが事実である。今年度は固定資産税などの伸びが見込め、市ではクリアできると考えている。ある程度の実績を見込んで運営しているとご理解いただきたい。

道路・河川の整備について

質問：菅田橋の架け替え工事は、平成24年度完成だと思うが、工事の経過を伺いたい。

回答：平成24年度完成予定だが、工事途中で橋の地盤の問題が発生した。このため、国土交通省で工事方法の見直しを行っており遅れているが、予定どおり完成させたい。

質問：阿武隈川の堤防の白沢部分はどうなるのか。

回答：白沢側の築堤も国土交通省と協議していく。国は現在、大きな計画をつくっており、取り残されることのないよう、引き続き要望活動を行っていく。

質問：本宮小学校入り口の旧国道の交通量が多く危険である。小学校の改築の機会に、付帯工事として通学路の改良はできないものか。

回答：本宮小学校第2校舎の今回の改築計画の中では、通学路は入っていない。今のところ具体的な整備計画はないが、今後全体計画の中で考えていきたい。なお、本宮小学校北側の道路が狭く交差できないところについては、9月議会で予算の提案をし、待避所を造っていきたい。

質問：高木地区の区画整理を早くしてほしい。

回答：国、地方自治体を取り巻く環境が厳しい状態である。区画整理は土地を売却しながら進めるものだが、財政が厳しい状況から一時凍結している。内部でも検討しているが、結論づけができない状態である。県と協議しながらご回答すべきと考える。

質問：阿武隈川堤防内に柳の木が生えている。増水した後に、ビニールなどのゴミが引っかかっている。木を切ればきれいになると考えるが、柳の木を切ることについて、国交省にお願いできないか。

回答：堤防内の木について、国では全部切ることについては難色を示しているようだ。堤防を守る理由になっている。景観の問題もあるので、切ってもらうように話しを進めている。

質問：ドリームラインは11年待った。できる限り早急に事業を進めてほしい。

回答：あだたらドリームラインの白岩小学校周辺の整備事業は、平成19年度から23年度までの5カ年計画で実施予定としている。

質問：荒池・東笹田間（礼堂・高松線）の道路について合併協議のなかで論議がされていた。どうなっているのか。

質問：一斗内・五百田線の長屋4区集会所周辺の路肩が下がっていて危険だ。早急に改良すると聞いていたが。

質問：稲沢地域の道路改良が進んでいない。大型車が多く通行し、交差できないので、早期に改良してほしい。

回答：これらの路線については、合併基本計画の中の構想事業に位置づけられているが、財政の状況で事業を実施するためしばらくお待ちいただきたい。場所により補修で対応している状況である。

質問：予算がつけば実施するでは、回答になっていない。しっかりした計画を立てていつまでにやるという話をしてほしい。

回答：要望や陳情がある路線は本宮地区で44路線、白沢地区で33路線ある。安全・安心のため優先順位により順次実施していきたい。